

韓国環境部プレスリリース 2020 年 1 月 8 日付

江原道華川郡および京畿道漣川郡の民間制限線内野生いのしし弊死体で ASF ウイルス検出（野生いのしし 65-66 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do;jsessionid=ahzflj3XSbO3cCaB98Jkg+kk.mehome1?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1173105&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョンゲン）および京畿道（キョンギド）漣川郡（ヨンチョンゲン）民間制限線中で発見された 2 個体の野生いのしし弊死体から ASF ウイルスが検出されたと 1 月 8 日明らかにした。

○ 1 月 6 日華川郡（ファチョンゲン）華川邑（ファチョンウプ）豊山里（プンサンリ）で発見された弊死体は軍部隊内戦術道路周辺で発見され、1 月 7 日漣川郡（ヨンチョンゲン）中面で発見された弊死体は国立生物資源館職員によってフェンス設置作業確認中、山のふもとで発見された。

□野生いのしし ASF 陽性個体が発生した華川郡（ファチョンゲン）豊山里（プンサンリ）地点は民間制限線内軍部隊内であり地雷地帯が多い山岳地帯であり、接近が難しい地域だ。

○また、この地点は 10.16 日陽性弊死体が確定診断となった鉄原郡（チョルウォンゲン）遠南面（ウォンナムミョン）と直線距離で 12.6km 離れた所であり、北漢江（プッカングン）と広域フェンスで楊口郡（ヤングン）地域と遮断されている。

□華川郡（ファチョンゲン）および漣川郡（ヨンチョンゲン）は ASF 標準的行動指針 (SOP)により試料採取後防疫措置をとり、国立環境科学院は 1 月 8 日弊死体 ASF 陽性結果を関係機関に通知した。

○これで ASF ウイルスが発見された事例は漣川（ヨンチョン）26 件、坡州（パジュ）22 件、鉄原（チョルウォン）17 件、華川（ファチョン）1 件で合計 66 件になった。

□国立環境科学院生物安全研究チーム長は“今回野生いのしし ASF が初めて華川（ファチョン）で発生したが、野生動物の行動圏の側面ではこの地域は鉄原郡（チョルウ

オングン) 遠南面 (ウォンナムミョン) と同じ圏域で見ることができる。ただしこの地域は地雷地帯が多い軍作戦地域なので相対的に弊死体発見が難しい地域だ。”と分析した。

□また、農食品部は野生いのししで ASF が確認された京畿道と江原道の全養豚農家に対して文字メッセージを通じて要害事実を知らせて、農場内部消毒、フェンスなど遮断防疫施設を点検するように措置した。

○華川郡 (ファチョングン) 豊山里 (プンサンリ) 野生いのしし発生地点から 10km 以内に位置している養豚農家 1 戸(約 430 頭飼育)に対し、移動制限して、家畜防疫観の臨床および精密検査と消毒など防疫措置を実施するように措置した。

○合わせて、現在の京畿北部および江原北部地域 9 個の市郡*内すべての養豚農場に対して、農場周りに生石灰塗布、野生いのしし忌避剤設置と予察を実施し、農食品部・検疫本部点検班** などが防疫実態を点検している。

* 抱川市、東豆川市、高陽市、楊州市、鉄原郡、麟蹄郡、華川郡、楊口郡、古城郡

** 中央点検班防疫実態点検: ‘19.12.10~12.16, ‘19.12.30~ ’ 20.1.6

以上